



所在地：福岡県北九州市若松区赤岩町13-1  
 観客施設：西スタンド/PC造4階建、座席数2,590席、総収容人員9,310人  
 東スタンド/SC造4階建、座席数2,840席、総収容人員8,840人  
 総敷地面積：191,494㎡（敷地面積121,590㎡、水面面積69,904㎡）  
 照明施工：東芝ライテック(株)  
 竣工：平成16年4月

## 集客力向上へ。全国3場目のナイターレース場として開幕。周辺地域への光漏れ防止にも配慮し、走行しやすいレースが展開できるナイター照明を実現

### ■高演色形ショートアークメタルハライド投光器で迫力あるレースを演出

若松競艇場は北九州市の公営競技場で、イベントプラザ(多目的ホール)やオープンデッキ、ピアホール、芝生広場、ファミリーピット等を備え、家族からカップルまで気軽にレースを観戦できる施設です。集客力の向上を目指して、このほどナイター照明設備が完備され、全国24場の競艇場の内、桐生競艇場(群馬県、平成9年9月完成)、蒲郡競艇場(愛知県、平成11年6月完成)に続く全国で3場目、西日本では初のナイターレース場(愛称：パynaッブルナイター)として生まれ変わり、平成16年5月に開幕しました。

ナイター照明設備は、選手、観戦者、審判に最適なナイターレース環境を提供するため、スタンド上部に318台、照明塔6基(最大取付高さ約37m)に528台、合計846台の高演色形2.0kWショートアークメタルハライドランプ投光器(全台数ルーバ取付)を設置し、2つのターンマークを囲む競技水面約400m×約110m(水面面積約510m×120m)に対して、平均水平面照度1,000 lx、平均鉛直面照度1,500 lx、均斉度(最小/最大)0.33以上を確保しています。

特に選手走行時の視線方向と目標物の観察をすることで照射方向とルーバの仕様などを決定し、さらに選手の協力を得た照明実験でのヒアリング等を受けて連日照射方向の微調整を行った結果、有害なグレアを低減する快適な視環境となりました。選手からも「走行しやすいレースが展開できる」と好評を得ることができ、これによりナイター照明に照らされた水面を6艇が水しぶきを上げて迫力と緊迫感溢れるレースが繰り広げられています。

また、周辺地域への光漏れ防止にも配慮したほか、ナイター開催時に観覧席からガラス越しに水面を観た場合に発生しやすい室内照明などのガラス面への映り込みを軽減するために、調光形照明器具を採用。より快適な視環境をつくり、迫力あるレース展開を観戦者に提供しています。

### ■照明コンセプト

Lighting design concept

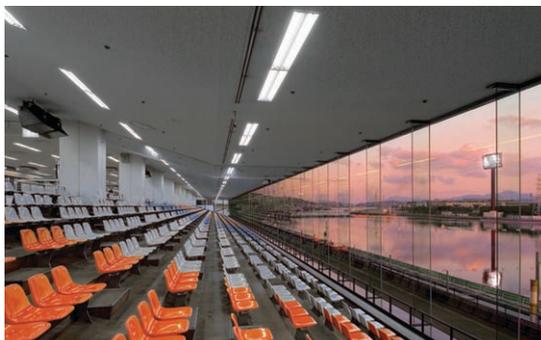
●選手走行時の有害なグレア低減と周辺地域への光漏れを防止しながら、迫力あるレース展開を観客に提供できるナイター照明の実現化



競走水面全景①(夜景)：対岸側からスタンド側を望む



競走水面全景②(夜景)：スタンド側から対岸を望む



観覧席から水面を望む夜景



スタンド上部に投光器318台を設置



照明塔6基(最大取付高さ37m)に投光器528台を設置

### ■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
スタンド上部	投光器	特注	318台	2.0kWショートアークメタルハライドランプ
照明塔(6基)	投光器	特注	528台	2.0kWショートアークメタルハライドランプ